

- 水素充填装置の設置でサーキットから低炭素社会実現を目指して - サーキットを水素エネルギーを用いた自動車開発の場に

岡山国際サーキット（岡山県美作市滝宮 1210）では、2017年2月10日にサーキットアスファルトの改修工事を完了し、新たにサーキット内に、簡易移動型小型水素充填装置を導入いたします。

今回の簡易移動型小型水素充填装置設置は、低炭素社会を目指した新しいエネルギーとして近年注目されている水素を燃料とした自動車用の燃料充填施設を整備することで、サーキットでの水素燃料車の開発・試験等を容易にすることを目的に設置されるものです。簡易移動型小型水素充填装置の設置により、水素エネルギーを用いた自動車のサーキットでの試験走行等の受注を目指します。また今回の水素充填装置の設置で、化石燃料を使用しての自動車レースなどのイメージが強いサーキットにおいても、積極的に新エネルギーである水素燃料とサーキットという安全な走行環境を併せ、各自動車メーカーによる水素燃料車の試験・開発をサポートすることで、モータースポーツ業界も積極的に低炭素社会の促進・実現に向けた取り組みを行う姿勢を広く発信したいと考えております。

今回設置されました簡易移動型小型水素充填装置については、水素運搬トレーラーから充填機を介して水素燃料自動車（FCV）への充填（充填圧 15MPa）を可能にしており、約 40 分間の充填で、100km 程度の走行が可能であり、水素燃料自動車（FCV）の走行試験等には十分な充填量が得られる仕様です。

簡易移動型小型水素充填装置について



写真：FCV 車両に充填しているところ



■簡易移動型小型水素充填装置 詳細

【仕様】

1. 受入条件：20MPa の水素トレーラーから充填
2. 最高充填圧力：15MPa

【充填回数・充填圧力】

1. 水素トレーラー 1 基で約 30 回の充填
2. 充填条件：FCV 1 台につき 15MPa の充填圧は、満充填の 1/5 程度（約 100km を想定）
3. 満充填時間：約 40 分



写真：水素トレーラーを使用した簡易移動型小型水素充填装置から FCV への充填の様子

本件に関するお問い合わせ